

令和7年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：令和7年8月12日（火）11：00～17：00

会 場：大阪大学東京オフィス＋WEB

出席者：家入里志（理事長）、菱木知郎（副理事長）、小野 滋（次期会長）、加治 建、
木下義晶、曹 英樹、田中秀明、平林 健、尾藤祐子、渡辺稔彦（以上理事）、
田中奈々（庶務委員長）、山田洋平（財務会計委員長）、上原秀一郎（財務会計副委
員長）、柴田晶子（事務局）

出席者（WEB）：

浮山越史、田尻 達郎（以上監事）、城田千代栄（会長付庶務委員）、大植孝治（第41
回秋季シンポジウム会長）、松浦俊治（専門医認定委員会委員長）、文野誠久（施設認
定委員会委員長）、石丸哲也（専門制度庶務委員会委員長）、佐々木英之（機関誌委員
会委員長）、永田公二（国際・広報委員会委員長）、下島直樹（保険診療委員会委員長）、
中目和彦（トランジション検討委員会委員長）、加藤充純（規約委員会委員長）、
宮城久之（研究倫理委員会委員長）、住田 互（ガイドライン委員会委員長）、
渡邊美穂（教育委員会委員長）、山本裕輝（悪性腫瘍委員会委員長）、石丸哲也（学術・
先進医療検討委員会委員長）、伊崎智子（倫理・医療安全管理委員会委員長）、
井上成一朗（データベース委員会委員長）、富山英紀（小児救急検討委員会委員長）、
井上幹大（ワークライフバランス検討委員会委員長）、奈良啓悟（利益相反委員会委
員長）、工藤博典（NCD 連絡委員会委員長）、安井良僚（ロボット支援手術検討委員
会委員長）、藤野明浩（NCD Audit Ad-hoc 委員会委員長）

欠席者：内田広夫（理事・会長）、照井慶太（庶務副委員長）、湊本康史（第42回秋季シン
ポジウム会長）、佐藤英章（医薬品・医療機器検討委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、田中 秀明理事、尾藤 祐子理事とした。
2. 令和7年度第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項
 - 1) 各種委員会委員と業務内容の見直し並びに活動方針について（各委員長）
 - (1) 各種委員会委員について
各種委員会委員長より、就任挨拶がなされた。
各種委員会委員長より、委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調
整により、構成メンバーが承認された。
 - (2) 業務内容の見直し並びに活動方針について
各種委員会委員長より委員会業務内容ならびに活動方針案が提出され、質疑応答・審議お
よび適宜修正を行った上で、承認された。

2) 第63回学術集会について（内田会長）

内田会長欠席のため、城田会長付庶務委員より、資料に基づき進捗状況が報告された。

HP が公開されたことが報告された。

ポスターはなく、ショートオーラルを設定する予定であることが報告された。

会 期：2026年6月11日（木）～6月 13日（土）

会 場：名古屋コンベンションホール

主 題：Bright Future for Children

輝く未来へ 小児外科の技術を磨く

学会 H P： <https://site2.convention.co.jp/jsps-aaps2026/>

同時開催：・ WOFAPS regional meeting

・ MIS workshop (fee required) （会場：名古屋大学医学部附属病院）

2026 年 5 月 19 日（火）

3) 第64回学術集会について（小野次期会長）

小野次期会長より、口頭で進捗状況が報告された。

2027 年 5 月 26 日（水）理事会・総会、2027 年 5 月 27（木）～29 日（土）学術集会を
国立京都国際会館で開催予定であることが報告された。

運営事務局については選定中であることが報告された。

4) 第 41 回秋季シンポジウムについて（大植秋季シンポジウム会長）

大植秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

- ・ オンデマンド配信期間を 2025 年 11 月 14 日(金)～12 月 15 日(月)とする予定であることが報告された。

日時：令和 7 年 11 月1 日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

5) 第 42 回秋季シンポジウムについて（渕本次期秋季シンポジウム会長）

渕本次期秋季シンポジウム会長欠席連絡と併せて、今回特に報告事項はない旨連絡がなされた。

日時：令和 8 年 10 月 31 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

6) 第 43 回秋季シンポジウムについて（加治次々期秋季シンポジウム会長）

加治次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき準備状況が報告された。

運営事務局を西日本企画サービスに依頼する予定であることが報告された。

日時：令和 9 年 10 月 23 日（土）

会場：久留米シティプラザ

テーマ：食道閉鎖症 Update

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（田中委員長）

田中委員長より、資料に基づき報告された。

2025 年 7 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,595 名（うち海外 3 名）、評議員 271 名、準会員 20 名、名誉会員 61 名（うち海外 8 名）、特別会員 65 名（うち海外 1 名）、賛助会員 1 団体の合計 2,012 名+1 団体である。

- ・自然退会となった方からの再入会申込について、復会の案内をすることが承認された。
- ・新体制発足時の第 1 回理事会で行われる理事長及び副理事長の選任について確認があり、継続審議することとなった。
- ・海外名誉会員推薦・推戴について、業績のサマリーの提出や評議員以上の役員からの推薦等の必要書類を定め、理事会内規に定めることとなった。

(2) 財務会計委員会（山田委員長）

山田委員長より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・2025 年度委員会活動について報告された。
- ・少子化における今後の対応について、年次報告からみた 2019～2024 の手術数の推移が提示され、各委員から寄せられた意見が報告された。
- ・2025 年 8 月 20 日に専門医機構主催で開催されるサブスペ領域懇談会に、家入理事長、菱木副理事長、専門医制度委員会各委員長が参加予定であることが報告された。
- ・NCD audit adhoc 委員会で検討中のリモート監査対応するため、施設認定申請要件にある「施設実施調査（サイトビジット）」を「NCD 監査」に文言修正を行うことが提案され、承認されたことが報告された。
- ・2026 年日本外科学会学術集会で予定されている専門医制度に関するセッションに、石丸専門医制度庶務委員長が、所属を小児外科学会専門医制度委員会として、小児外科専門医の建て付けなどに関する発表をすることが報告された。
- ・来年度の施設認定委員会について、平日開催の可能性を検討することが提案されたことが報告された。

松浦専門医制度委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・2025 年度 専門医認定委員会活動予定について報告された。
- ・2025 年 11 月 16 日（日）に第 24 回小児外科専門医筆記試験を実施する予定であることが報告された。
- ・2025 年専門医・指導医申請（新規・更新）について、7 月中旬から受付を開始し、8 月 31 日締切とすることが報告された。

- ・e-learning を取り入れた専門医更新基準の検討や、指導医認定基準見直しの必要性について検討していく予定であることが報告された。

（４）機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき PSI (JSPS Issue) Publication Committee について報告された。

- ・2026 年の PSI JSPS Issue 投稿締め切りを 4 月 17 日（金）24 時とすることが承認された。
- ・PSI(JSPS Issue)査読結果について、倫理的手続きに問題ありとの指摘のあった J03 論文の研究倫理委員会、倫理・医療安全管理委員会の審議結果を大植委員長から PSI Editor-in-Chief の Tomas Wester 教授に報告したところ、reject とするよう指示があったことが報告された。これを受けて、J03 論文を含む 13 論文が reject となり、それ以外の 15 論文が PSI JSPS Issue へ accept と決定したことが報告された。また、各筆者への連絡と投稿手続きが進んでいることが報告された。

（５）国際・広報委員会（家入担当理事）

家入担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ウズベキスタンの小児外科学会を後援することが承認された。

（６）保険診療委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・令和 8 年度用診療報酬改定について提出済の要望が報告された。
- ・診療報酬の改定に向けての要望として提出された「NUSS 法における肋間神経の高周波熱凝固療法について」を、次回の外保連麻酔委員会の議題として提示予定であることが報告された。
- ・医療技術評価報告書「連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術（腹腔鏡下）」のガイドラインの記載状況報告について、田井中前委員長が調査し提出したことが報告された。
- ・医療技術評価報告書「腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）」のガイドラインの記載状況報告について、ロボット支援手術検討委員会が調査し提出したことが報告された。

（７）教育委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より資料に基づき報告された。

- ・7 月 11 日に開催された外科学会との e-learning に関する WEB 会議について報告された。このシステムを小児外科学会専門医の更新要件とするか否かも含め、専門医制度委員会と教育委員会で合同委員会を開催することとなった。
- ・施設リストの掲載について HP 更新の進捗状況を確認することになった。
- ・8 月 30 日に開催予定の小児外科サマースクールについて報告された。
- ・2025 年 PSJM の第 44 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会で開催予定の第 19 回小

児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。

- ・2026年2月1日（日）に開催予定の第41回卒後教育セミナー・第20回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・2025-2026年度のホームページ改訂予定について報告された。

（8）悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・データ回収事業はすでに完了していることが報告された。
- ・小児がん全国登録委員会について、2025年度からは「悪性腫瘍登録事業地区センター幹事」を廃止した旨報告したことが報告された。
- ・10月9日に開催される日本がん治療認定医機構関連学会連絡委員会について、平林担当理事と山本委員長が出席予定であることが報告された。
- ・2025-2026年度は残務処理を主体に活動することが報告された。

（9）学術・先進医療検討委員会（木下担当理事）

木下担当理事より、資料に基づき第62回学術集会における優秀ビデオ選出について報告された。

「先天性胆道拡張症の肝門部胆管狭窄の診断と胆管形成術の手技」

（名古屋大学大学院 内田広夫 先生）

上記の1題を優秀ビデオとして学会ホームページの手術動画コーナーで公開することとし、副賞として学会から賞金が授与される予定であることが報告された。

（10）倫理・医療安全管理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、資料に基づき報告され、承認された

- ・疑義が生じたPSI JSPS Issue 投稿論文に関して研究倫理委員会から審議依頼があり、旧メンバーを中心に審議したことが報告された。
- ・事故調査委員の推薦依頼や、医療事故裁判の鑑定人依頼を引き受けるか否かのアンケートについて、評議員が確定した時点で名簿を更新することについての提案がなされ、検討することとなった。

（11）データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、井上成一郎委員長から報告された通りである旨が述べられた。

（12）小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2025年7月20日・21日にPALS講習会が開催されたことが報告された。
- ・第62回日本小児外科学会学術集会で開催された学会企画日本小児救急医学会とのジョイントセッション、講習会について報告された。
- ・災害対策本部設定基準をブラッシュアップしていく予定であることが報告された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・「トランジション実態に関するアンケート調査」の内容について委員会内で承認を受け、久留米大学倫理委員会での審議の準備に入ったことが報告された。
- ・第 32 回日本医学会総会（2027 年 4 月開催予定）における成人期移行に関するシンポジウム企画について、帝京大学医学部内科学講座田中篤教授から小児外科学会へ発表の依頼があり、その時点までトランジション検討委員会担当理事である加治 建が司会、本委員会委員長 中目和彦先生と委員 武之内史子先生が発表者として参加する事についてメール審議で承認されたことが報告された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より資料に基づき報告され、承認された。

- ・2025 年 10 月の PSJM での「講演会の企画」について報告された。
- ・働き方改革施行後の実態調査のアンケートの実施状況について報告された。
- ・厚生労働省医政局看護課から「看護師による特定行為に関する実態調査調査」の依頼があり、回答したことが報告された。
- ・家入理事長より、外科学会から労働環境改善研究をしてほしいとの要求がきているので、木下先生、荒先生、城田先生を加えた形で NCD を使った労働環境改善調査を行い、案を出してほしいとの希望が述べられ、外科学会に申請することになった。

(15) 規約委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、加藤充純委員長から報告された通りである旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（曹担当理事）

曹担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・疑義が生じた PSI 投稿論文に関して、旧メンバーを中心に審議したことが報告された。これに関連して薄井佳子前委員長より、研究倫理委員会では過去の審査で類似の案件が複数あったため、毎年のレポートに懸念点として挙げていた、学術集会の応募演題全てを研究倫理委員会で審査することは不可能なため、今後の対策について理事会や委員会でご検討いただきたいとの意見が寄せられたことが報告された。

(17) NCD 連絡委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき委員構成が報告され、承認された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・「腸回転異常症ガイドライン公開後のアンケート調査に関する論文」について報告され、共同筆頭著者を 5 名とすることを認めるか否かについては、機関誌委員会で検討することとなった。また、研究しているときの理事長・担当理事の名は共同著者にいれるべきであるとの指摘がなされた。

- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインについて、Minds 公開前評価申請中であり、その後、Minds 公開後評価および Minds ライブラリへの公開申請予定であることが報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインについて、ダイジェスト版英文化を伊勢一哉先生が作成中であることが報告された。また、公開後のアンケート結果について和文論文作成中であり、本学会誌に投稿予定であることが報告された。
- ・先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、SCOPE および CQ（仮）作成し、現在、統括委員会・作成グループで回覧中であることが報告された。Web 会議で SCOPE をブラッシュアップしていく予定であることが報告された。第 61 回日本周産期・新生児医学会学術集会でガイドラインに関するシンポジウムの指定演者として委員長が途中経過を発表したことが報告された。
- ・先天性高インスリン血症診療ガイドライン改訂の作成グループに理事・委員長・副委員長が参加することが報告された。
- ・学会 HP 掲載診療ガイドラインの更新について 2025 年 5 月にアップロードしたことが報告された。

(19) 利益相反委員会（尾藤担当理事）

尾藤担当理事より、奈良啓悟委員長から報告された通りである旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（渡辺担当理事）

渡辺担当理事より、資料に基づき委員構成が報告され、承認された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入理事長）

安井良僚委員長の就任挨拶・業務内容の報告と共に委員会規則が示され、日本小児外科学会ロボット支援手術委員会規則を令和 7 年 8 月 12 日から施行することが承認された。

(22) 総合調整委員会（菱木委員長）

菱木委員長より、資料に基づき、報告された。

- ・U45WG の論文が PSI に accept されたことが報告された。

(23) 日本外科学会理事会（田尻監事）

田尻監事より、資料に基づき、報告された。

- ・“Surgical Week” 構想への参加について再確認があることが報告された。
- ・“Surgical Week” 開始は 2029 年を目標としていることが報告された。

(24) 四者協関連（家入理事長）

家入理事長より、資料に基づき報告された。

- ・2025 年 9 月 18 日(木)に第 20 回 四者協小児周産期災害医療対策委員会が開催されることが報告された。
- ・四者協小児周産期災害医療対策委員会名簿が示され、小児外科学会からは島秀樹先生、吉元和彦先生が委員として参加していることが報告された。

8) 厚労省科学研究・日本小児脾臓・門脈研究会からのガイドライン作成協力依頼

(家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、厚労省科学研究・日本小児脾臓・門脈研究会からのガイドライン作成協力依頼があったことが報告され、承諾することが承認された。

9) 小児救急医学会からのジョイントセッション開催依頼 (家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、小児救急医学会からのジョイントセッション開催依頼があったことが報告され、承諾することが承認された。

10) WOFAPS への加盟と支払いについて (家入理事長)

家入理事長より資料に基づき報告され、承認された。

- ・コロナ禍の頃から年会費の支払方法が、請求書発行ではなく、HP から払い込む形式に変更されていたことが報告された。
- ・現在、小児外科学会は WOFAPS のメンバーではなくなっていることが報告され、再加盟の上、会費を支払うことが承認された。

11) 医療安全全国共同行動「医療安全全国フォーラム 2025」への後援名義使用の件

(家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、医療安全全国共同行動「医療安全全国フォーラム 2025」の後援名義使用依頼があったことが報告され、承諾することが承認された。

12) 指定難病診断基準(変更点)につきましてご承認のご依頼 (家入理事長)

家入理事長より、厚生労働科学研究「難治性血管腫・脈管奇形・血管奇形・リンパ管奇形(リンパ管腫)・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究」研究代表 秋田定伯先生から指定難病診断基準(変更点)についての承認依頼があったことが報告され、承認することが承認された。

13) 読売新聞_ハラスメントアンケートについての問い合わせ (家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、読売新聞からハラスメント調査結果提供依頼があったことが報告された。昨年 12 月にも同様の依頼があり、小野前理事長の名前で回答済であったことが確認された。本件は継続審議とすることが承認された。

14) 第 32 回日本医学会総会登録推進委員推薦依頼 (家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、第 32 回日本医学会総会登録推進委員推薦依頼があったことが報告され、曹英樹理事を推薦することが承認された。

15) 【日本外科学会 第 126 回定期学術集会】 講師ご推薦のお願い (家入理事長)

家入理事長より資料に基づき、日本外科学会 第 126 回定期学術集会への講師推薦依頼があったことが報告され、田中秀明理事を推薦することが承認された。

16) 日本医学会連合 加盟学会連携フォーラム共催事業についてのご案内（家入理事長）

家入理事長より資料に基づき、日本医学会連合から加盟学会連携フォーラム共催事業について案内があったことが報告され、会員宛にメール配信することが承認された。

1. 報告事項

1) 理事長報告（家入理事長）

- (1) 小児麻酔学会からの委嘱代議員推薦依頼があり、家入里志理事長、菱木知郎副理事長を推薦したことが報告された。
- (2) 日本医学会役員の選挙結果について報告された。
- (3) 会員からのご意見について報告された。
- (4) 日本産科婦人科学会からの要望に対する日本医学会としての対応について(ご報告)を受領した。
- (5) 日本産科婦人科学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (6) 日本医学会連合からの通信文「役員就任のお知らせ」を受領した。
- (7) 日本小児がん研究グループからの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (8) 日本ペインクリニック学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (9) 日本医療機器学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (10) 日本小児看護学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (11) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.211」を受領した。
- (12) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌」を受領した。
- (13) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.421」を受領した。
- (14) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 8月号」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（家入理事長）

次回定例理事会は令和 7 年 9 月 9 日（火） 11:00～16:00 大阪大学東京オフィスで開催する予定であることが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____